



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月12日

上場会社名 株式会社クリーマ 上場取引所 東
コード番号 4017 URL <https://www.creema.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸林 耕太郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート (氏名) 伊藤 彩紀 TEL 03(6447)0105
ディビジョンGM
四半期報告書提出予定日 2023年10月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	1,239	5.9	4	—	25	—	12	—
2023年2月期第2四半期	1,170	5.5	△63	—	△64	—	△65	—

（注）包括利益 2024年2月期第2四半期 12百万円（－％） 2023年2月期第2四半期 △64百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	1.90	1.87
2023年2月期第2四半期	△9.80	—

（注）2023年2月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	3,474	933	26.9
2023年2月期	3,433	919	26.8

（参考）自己資本 2024年2月期第2四半期 932百万円 2023年2月期 918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点において、2024年2月期の配当予想額は未定であります。

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	2,793	11.7	1	—	21	—	6	—	1.00

- （注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年2月28日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。
 3. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	6,732,100株	2023年2月期	6,721,100株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	43株	2023年2月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	6,723,834株	2023年2月期2Q	6,700,573株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2023年10月12日（木）にSBI証券のウェブサイトにて機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの説明会をライブ配信で開催し、四半期決算補足説明資料を当社のウェブサイトに公開します。

また、四半期決算補足説明資料を日本取引所グループウェブサイト上の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、「まるくて大きな時代をつくろう」を企業理念に、その実現に向けた第一弾の事業として、クリエイターエンパワーメント事業を推進しております。

日本ならびに中国語圏におけるグローバルハンドメイドマーケットプレイス「Creema(クリーム)」の運営を行うマーケットプレイスサービス、「Creema」のプラットフォームを活用し、出店クリエイター・企業・地方公共団体のマーケティング支援を行うプラットフォームサービス、日本最大級のクリエイターの祭典「HandMade In Japan Fes' (東京ビッグサイト)」等の大型イベントを開催するイベントサービス、さらには、クリエイターの創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」、人気アーティストがレッスン動画を販売する動画プラットフォーム「FANTIST」等、クリエイターの活動を支援するサービスを様々な角度から展開し、まだ見ぬ巨大なクリーム経済圏の確立と、クラフトカルチャーの醸成に力を注いでおります。

マーケットプレイスサービスにおいては、入園入学といったライフイベントや、母の日等の季節のトレンドを捉えた各種マーチャングアイジング・キャンペーン施策を展開する等、クリエイター作品の魅力を訴求する様々な企画を実施しました。また「Creema」のユーザーインターフェース改善、検索機能の拡充、インフラ基盤の強化をはじめ、プロダクト面においても多面的な強化を推進しました。加えて「Creema」及びハンドメイドマーケットプレイス市場の認知拡大を目的に、前期より今期3月にかけてTVCMを複数回放映してきましたが、並行してデジタルマーケティングの改善、ROASの向上にも取り組んで参りました。その結果、当該サービスの広告宣伝や販売促進に係るプロモーション費用を前年同期比77%にまで大幅に圧縮しながらも、マーケットプレイスサービスの流通総額は82.3億円(前年同期比2.4%増)、売上高は815,955千円(前年同期比1.6%増)と過去最高額を継続更新しての着地となりました。なお、当第2四半期連結累計期間におけるクリエイター数は約26万人、登録作品数は約1,640万点、スマートフォンアプリのダウンロード数は約1,440万回を突破しております。

プラットフォームサービスにおいては、「Creema」のプラットフォームならびにユーザー基盤を活用した企業・地方公共団体向けのPR支援を行う外部広告サービスにて、大手商業施設とコラボレーションしたクラフトイベントの開催や、海洋プラスチックごみの一因とされる“廃棄漁網”をアップサイクルするSDGsプロジェクトの実施、地方自治体と連携した各種地方創生プロジェクト等、当社にしかできない様々なPR企画をクライアントに対し提案・実現してきました。また、クリエイターが自身の作品を「Creema」上でプロモーションできる内部広告サービスでは、広告サービスの利用者数を増加させるべく、プロダクトの改善とその普及に努めました。その結果、プラットフォームサービスの売上高は316,333千円(前年同期比15.1%増)での着地となっております。

イベントサービス(旧イベント・ストアサービス)においては、2023年7月22日・23日に日本最大級のクリエイターの祭典「HandMade In Japan Fes' (2023)」を開催し、多くのクリエイター・来場者の方々にご参加いただき、コロナ前の全盛時に近い水準にまで活況を取り戻すことができました。前年同時期には、本年1月をもって全店閉店となったストアサービス(Creema Store)の売上が計上されていたため、今期はその売上分の下方圧力があがりながらも、結果として、売上高は72,947千円(前年同期比12.3%減)と計画通りの水準で着地いたしました。

当社グループの中長期的な成長を企図し、戦略的な先行投資を拡大している新サービス群では、クリエイターやものづくり事業者の創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」において、引き続き多様なプロジェクトが起案され、その多くが目標支援金額を達成しております。また、クリエイターがレッスン動画を販売する動画プラットフォーム「FANTIST」においては、参加クリエイター数・出品動画数ともに順調に成長していることに加え、初学者向けに体系的なレッスンを提供するコースレッスン動画も順調に拡張しております。結果として、売上高は33,982千円(前年同期比254.9%増)と大幅な成長を続けていることに加えて、クリーム経済圏の拡大に向け、更なる新サービスのリリースに向けた開発を進めております。

これら全てのサービスを連携させることにより、ユーザー価値の最大化を図ると同時に、当社グループのサービスの認知度向上及び市場の拡大、クリーム経済圏の確立に取り組んで参りました。その結果、当第2四半期連結累計期間における全社業績については、売上高は前年同期比5.9%増となる1,239,342千円で着地いたしました。また、期初開示の通り、今期は新規事業領域及びシステム領域への成長投資を継続させておりますが、営業利益は4,738千円(前年同時期から68,087千円の増益)、イベントサービスに係る補助金収入が計上された関係で経常利益は25,665千円(前年同時期から89,725千円の増益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,794千円(前年同時期から78,474千円の増益)となり、いずれも前年同時期との比較では増益となっております。

なお、当社グループでは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、3,474,026千円となり、前連結会計年度末に比べ40,537千円増加いたしました。主な増減要因は、売掛金が83,276千円、還付金の回収により未収消費税等が39,904千円減少した一方で、現金及び預金が216,547千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、2,540,419千円となり、前連結会計年度末に比べ26,336千円増加いたしました。主な増減要因は、預り金が177,487千円減少した一方で、長期借入金が220,036千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、933,606千円となり、前連結会計年度末に比べ14,201千円増加いたしました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益12,794千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ216,547千円増加し、2,591,390千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は、58,919千円（前年同期は50,635千円の使用）となりました。これは主に、売上債権の減少83,276千円、未収消費税等の減少39,904千円の方で、預り金の減少178,205千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、4,984千円（前年同期は59,115千円の使用）となりました。これは主に、敷金・保証金の回収による収入4,984千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、269,494千円（前年同期は78,848千円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出131,818千円の方で、長期借入れによる収入400,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想については、2023年4月14日の「2023年2月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,374,843	2,591,390
売掛金	673,112	589,835
未収還付法人税等	21,587	567
その他	71,835	20,966
流動資産合計	3,141,378	3,202,759
固定資産		
有形固定資産	24,317	22,867
無形固定資産	148,991	130,465
投資その他の資産	118,801	117,934
固定資産合計	292,110	271,266
資産合計	3,433,488	3,474,026
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	194,016	242,162
未払金	211,044	117,218
未払費用	66,148	69,131
未払法人税等	—	23,276
前受金	81,650	61,033
預り金	1,708,767	1,531,279
ポイント引当金	23,072	10,843
その他	36,603	77,585
流動負債合計	2,321,302	2,132,531
固定負債		
長期借入金	187,852	407,888
その他	4,928	—
固定負債合計	192,780	407,888
負債合計	2,514,082	2,540,419

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	539,678	540,334
資本剰余金	1,960,798	1,961,454
利益剰余金	△1,580,886	△1,568,091
自己株式	△228	△228
株主資本合計	919,363	933,470
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△610	△516
その他の包括利益累計額合計	△610	△516
新株予約権	652	652
純資産合計	919,405	933,606
負債純資産合計	3,433,488	3,474,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月 1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月 1日 至 2023年8月31日)
売上高	1,170,652	1,239,342
売上原価	260,931	258,721
売上総利益	909,720	980,620
販売費及び一般管理費	973,068	975,881
営業利益又は営業損失(△)	△63,348	4,738
営業外収益		
受取利息	27	131
為替差益	440	230
預り金精算益	2,061	2,424
補助金収入	—	19,226
その他	372	2,492
営業外収益合計	2,902	24,505
営業外費用		
支払利息	3,614	3,579
営業外費用合計	3,614	3,579
経常利益又は経常損失(△)	△64,060	25,665
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△64,060	25,665
法人税、住民税及び事業税	1,620	12,870
法人税等合計	1,620	12,870
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△65,680	12,794
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△65,680	12,794

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月 1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月 1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△65,680	12,794
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	787	94
その他の包括利益合計	787	94
四半期包括利益	△64,892	12,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,892	12,889
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月 1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月 1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△64,060	25,665
減価償却費	13,803	19,459
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2,152	△12,228
受取利息	△27	△131
支払利息	3,614	3,579
補助金収入	—	△19,226
売上債権の増減額 (△は増加)	35,917	83,276
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	39,904
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△795	5,936
未払金の増減額 (△は減少)	125,732	△98,969
預り金の増減額 (△は減少)	△87,623	△178,205
前受金の増減額 (△は減少)	△12,701	△20,617
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△23,027	55,007
その他	13,723	866
小計	2,403	△95,683
利息の受取額	27	131
利息の支払額	△3,556	△3,732
補助金の受取額	—	19,226
法人税等の支払額	△49,510	△4,962
法人税等の還付額	—	26,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	△50,635	△58,919
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,872	—
無形固定資産の取得による支出	△59,329	—
敷金及び保証金の回収による収入	26,086	4,984
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,115	4,984
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	400,000
長期借入金の返済による支出	△85,590	△131,818
新株予約権の行使による株式の発行による収入	6,742	1,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△78,848	269,494
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,538	988
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△185,060	216,547
現金及び現金同等物の期首残高	2,953,931	2,374,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,768,871	2,591,390

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。